

対象年度	令和 8年度							総合計画実施計画策定及び行政評価シート				
事務事業名	家庭教育支援事業							予算事業名	家庭教育支援事業費			
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令				
			10	05	01	1201	経常経費					
総合計画体系	未来を担う子どもと 生き生きとした市民を育む地域を目指そう 生涯学習環境の充実と市民が誇れる芸術文化の創造 地域教育体制の充実							事業の区分	主要事業			
								担当課係等	生涯学習課 生涯学習係			
事業期間	継続 ( 年度～ 年度)											
【めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】					
豊かな人間関係を育む上で原点となる、幼児期における家庭教育を見直すとともに、子育て講座の中で、親同士が交流しながら、地域の中での子育てや家庭での親のあり方について、互いに広く学びあうことができ、自信を持って健全な子どもを育成することができる。							国は、昭和39年度から市町村が開設する家庭教育学級に対して、経費を一部補助するなど、その奨励に努めてきたが、国全体の補助金等についての見直しで、平成15年度をもって、補助金は廃止され、市町村の自主事業となった。					
【手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)】							【対象 (だれに対して・何に対して行うのか)】					
・市内小中学校、幼児教育施設における子育て講座の開催を支援する。 ・未就学児の親対象の募集型家庭教育学級を開催する。(託児付き)							市内小中学生の保護者及び就学前の子を持つ保護者					
							【事業をとりまく環境の変化】					
							社会教育行政においては、従来から親等の家庭教育に関する学習活動の支援を成人教育の一環として位置づけ、その奨励に努めてきた。平成18年12月教育基本法、平成20年6月社会教育法を改正し、「家庭教育」や「家庭教育支援」に関する内容を充実させ、「家庭教育」に関する独立規定を新設した。平成20年7月教育振興基本計画では、「家庭教育支援」を重点施策として位置づけている。					
【令和 8年度 事業内容】				【令和 9年度 事業内容】				【令和10年度 事業内容】				
・募集型家庭教育学級 ・子育て講座				・募集型家庭教育学級 ・子育て講座				・募集型家庭教育学級 ・子育て講座				

■ 事業費

		R06年度	R07年度			
財源内訳	国庫支出金	0	0			
	県支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他	0	0			
	一般財源	415	453			
歳入計 (千円)		415	453			
歳出内訳	節 (番号 + 名称)	金額 (千円)	金額 (千円)			
	07 報償費	125	444			
	10 需用費	10	9			
	12 委託料	280	0			
歳出計 (千円) (A)		415	453			
伸び率 (%)			9.15			
備考	総合計画102ページ 予算書195ページ					

# 令和 6年度行政評価シート

## ■指標

種類	指標名	単位		R06年度	R07年度	R08年度
活動指標	家庭教育学級学習会開催数	回	目標	80.00	80.00	80.00
	指定・自主家庭教育学級、募集型家庭教育学級の 延べ開催数		実績	63.00	0.00	0.00
	子育て講座開設数	回	目標	10.00	10.00	10.00
			実績	10.00	0.00	0.00
成果指標	家庭教育学級・子育て講座参加者数	人	目標	1,500.00	3,000.00	1,500.00
	指定・自主家庭教育学級、募集型家庭教育学級の 延べ参加人数		実績	1,809.00	0.00	0.00
	子育て講座参加者数	人	目標	500.00	500.00	500.00
			実績	318.00	0.00	0.00

## ■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	家庭教育の重要性に鑑み、学習機会や情報の場を提供する事業として必要である。
妥当性	実施主体の妥当性	B どちらとも言えない	現状は、市内の小中学校、幼児教育施設等が主体となって開催する子育て講座に講師を派遣する形式となっているが、今後の開催状況によっては、検討の余地はある。
	手段の妥当性	B どちらとも言えない	子育て講座については、現状は講師を派遣する形式をとっている。募集型家庭教育学級については、市が主体となって開催しており、保護者へのチラシ配布及びお知らせ版やホームページで受講希望者を募っている。
効率性	コストの効率性・人員効率	C 改善の余地はある	講座の内容、人気等によっては、講師謝礼の金額について検討の余地がある。
公平性	受益者の偏り	B どちらとも言えない	講座を開催する学校、幼児教育施設等によって、参加者に偏りが出る可能性がある。
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	継続的に市内小中学校、幼児教育施設等に子育て講座の開催について働きかけていく必要がある。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	年間計画に基づき講座を開催している。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て講座への講師派遣については、市内小中学校、幼児教育施設等に周知を行い開催を促していくが、実際の開催状況によっては、周知、促進の方法を検討する必要がある。</li> <li>募集型家庭教育学級は年間を通して計画的に開催しており、親の学びの場として好評である。今後も、託児による完全親子分離形式での開催を継続する。</li> </ul>			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て講座については、事業の周知と開催の促進のため学校、幼児教育施設等と連携して取り組んでいく。</li> <li>募集型家庭教育学級については、引き続き現在の形式で実施していく。</li> </ul>			

## ■方向性

<p>1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input checked="" type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開</p> <p><input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置</p> <p>方向性の具体的内容 事業の実施にあたっては、学校や関係機関と連携し、引き続き体制の整備を図っていく。</p>
<p>2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開</p> <p><input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置</p> <p>企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり</p>
<p>管理課連絡欄</p>